

経営比較分析表（平成28年度決算）

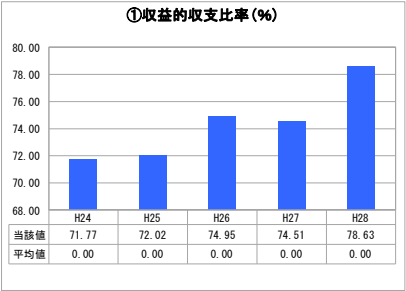
福岡県 広川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	37.78	82.95	3,845

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,882	37.94	524.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,498	2.70	2,777.04

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成28年度全国平均

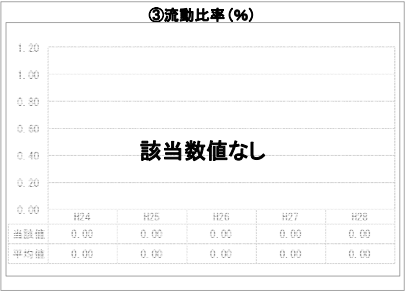
1. 経営の健全性・効率性



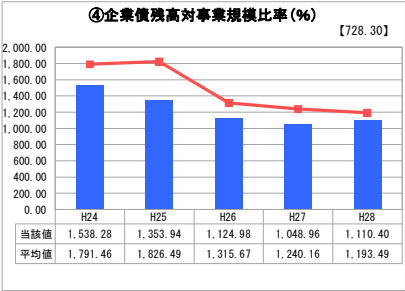
「単年度の収支」



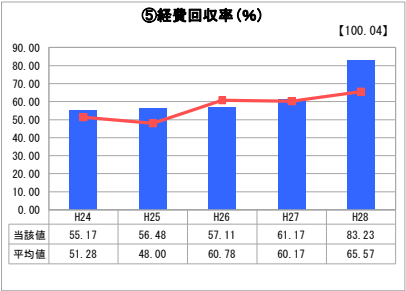
「累積欠損」



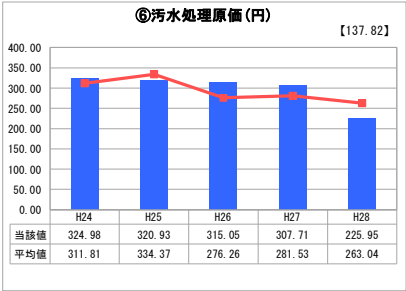
「支払能力」



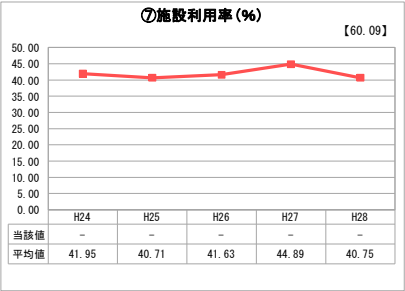
「債務残高」



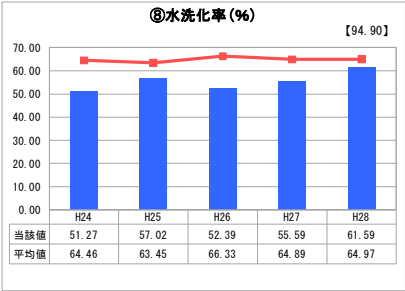
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

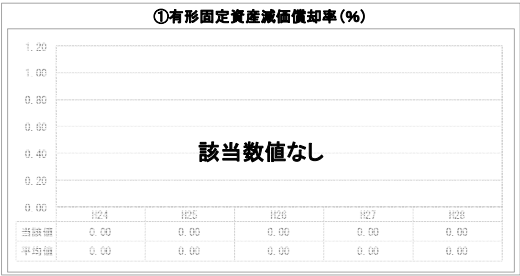


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

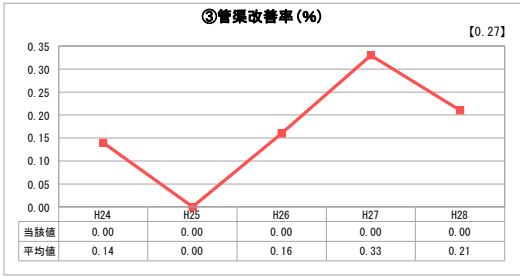
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当町の下水道事業については、矢部川流域公共下水道に参加しており、関連町公共下水道は現在区域を拡大中です。
供用開始区域の増に伴い、料金収入も増加はしておりますが、維持管理費、処理負担金、起債償還などの経費が増加しており、国庫補助金、料金収入等の特定財源で不足する部分を、一般会計から繰り入れており、依存度が高い状況があります。
既供用開始区域内の加入促進を進め、料金収入を増やすことが課題です。

2. 老朽化の状況について

現在区域を拡大中で、管渠は古いものでも10数年程度であり、耐用年数を迎えるまでは相当の期間がありますが、今後、ストックマネジメント計画を策定して随時点検、管理していく必要があります。

全体総括

長期的な事業運営を安定化するためには、現在拡大している事業計画の効率性・経済性を再検証し、住環境ニーズの変化に合わせた対応が必要になってくると考えます。
既供用開始区域、拡大していく区域内の更なる加入促進を行っていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。